

室町時代

/8

問1 室町時代の京都において、応仁の乱などの戦乱によって荒廃した都市を復興させ、自衛や自治のために組織を結成した有力な商工業者を何と呼びますか。 (2024年 石川公立入試 類似)

- 1. 町衆** **2. 惣** **3. 株仲間** **4. 五人組**

問2 1333年に足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼした後、後醍醐天皇が自ら中心となって始めた、天皇による新しい政治体制を何と呼びますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 院政 2. 建武の新政 3. 摂関政治 4. 寛政の改革

問3 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、幕府が朝廷の監視と西国の統轄を強化するために京都に設置した役職と、その後の政治の動きとして適切な組み合わせを選んでください。(2023年 歴史公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 六波羅探題の設置と、鎌倉幕府滅亡後に後醍醐天皇が行った建武の新政 | 2. 問注所の設置と、北条時宗がモンゴルの襲来に備えて行った異国警固番役の強化 | 3. 評定衆の設置と、足利尊氏が光明天皇を擁立して始めた北朝の政治 | 4. 守護・地頭の設置と、源頼朝が全国に支配を広げるために行った平氏の追討 |
|-------------------------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|

問4 日明貿易で使用されたある道具について、縦長の紙の中央に「號」などの漢字が書かれ、その右半分に割印（半分に分かれた印影）が押されている様子を説明した資料があります。この道具を用いた貿易の目的や背景として最も適切なものはどれですか。（2019年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 明の皇帝から日本国王として認められた義満が、朝貢形式で利益を得るため、倭寇ではない正規の船を証明する必要があった。 | 2. 勘合貿易を通じて得られた宋銭を日本国内に流通させ、貨幣経済をさらに発展させる必要があった。 | 3. 元寇の際、元との緊張状態にあったが、民間レベルでの細々とした貿易を継続するために印が必要であった。 | 4. 鉄砲やキリスト教の伝来を受け、それらの輸入品を江戸幕府が一括して管理するために発行された。 |
|--|--|--|--|

問5 室町時代中期の1467年に始まり、細川勝元と山名宗全の対立などを背景として11年間にわたって続いた、戦国時代の幕開けともされる戦乱の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2025年 大阪公立入試 類似)

1. 応仁の乱 2. 承久の乱 3. 保元の乱 4. 観応の擾乱

問6 15世紀頃の琉球王国が、東アジアにおける「中継貿易」の拠点として大きく発展することができた理由を説明したものと
して、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山梨公立入試 類似)

1. 中国と日本の間に位置するという地理的利点を活かし、周辺諸国の産物を選び入れて取引したため
2. オランダから最新の航海技術を導入し、日本を通らずに直接ヨーロッパ諸国と貿易を行ったため
3. 国内で金や銀などの鉱物資源が豊富に採掘され、それらを主要な輸出銘柄としていたため
4. アメリカから輸入した農作物を大規模に栽培し、東アジア全域に供給する供給源となったため

問7 室町時代、3代将軍の足利義満が中国の明（みん）との間で開始した貿易に関する説明として、最も適切なものはどれですか。

(2017年 富山県公立入試 類似)

1. 海賊である倭寇と正式な貿易船を区別するため、「勘合」と呼ばれる札を使用した。
2. 平清盛が中心となり、宋の貨幣を大量に輸入するために「大輪田泊」を整備した。
3. 江戸幕府がキリスト教の布教を防ぐため、貿易を許可された船に「朱印状」を与えた。
4. 元（モンゴル）との外交関係を修復するために、鎌倉幕府が公認の貿易船を派遣した。

問8 室町文化における芸術の発展について、観阿弥・世阿弥親子が果たした役割とその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良公立入試 類似)

1. 足利義満の保護を受け、民俗芸能であった猿楽に歌舞や物語の要素を加え、象徴的で洗練された舞台芸能へと高めた。
2. 江戸時代の元禄文化において、町人の生活や義理人情を題材にした劇を創作し、庶民の間に爆発的な人気を博した。
3. 安土桃山時代に、華やかな衣装や独特の化粧法を取り入れた踊りを創始し、新しい都市文化の象徴として広めた。
4. 三味線の伴奏に合わせ、精巧な人形を操る技術確立し、歴史上の物語を視覚的に分かりやすく表現する工夫を行った。